太洋物産株式会社

2026年11月17日

各　位

会社名　　太洋物産株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　松島 伸介
（コード番号：9941　東証スタンダード）
問合せ先　　総務部　部長　　井坂 勇登
電話：03-5946-8000

個別業績予想と実績値との差異及び連結決算への移行に関するお知らせ

当社は、2025年11月14日に公表いたしました2026年9月期（2025年10月1日～2026年9月30日）の個別業績予想について、本日開示の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、当社は、2026年9月期通期決算より、従来の単体決算から連結決算に移行いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

１．　2026年9月期通期個別業績結果（2025年10月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	25,052	290	228	182	94.36
実績値（B）	21,054	337	249	176	85.49
増額額（B－A）	△3,997	47	21	△6	
増減率（%）	△15.9	16.5	9.3	△3.3	
（ご参考）前期実績	19,662	247	172	148	76.93

２．差異の理由

当事業年度の売上高は、農産品では、円安・輸送コスト高の影響及び新規契約の取引が進まず、売上高・取扱数量ともに減少となりましたものの、主要事業である食肉関連においては、利益率の高い商材の販売にシフトいたしました。また、新規アイテムの成約や、国産鶏肉を含む利益率の高い商材の販売も増加させております。その結果、前回発表予想を下回る21,054百万円となりましたが、一方で、輸入鶏肉、加工食品及び牛肉の売上総利益が前期に比べて増加し、利益確保に寄与しました。

売上総利益率が当初の想定を上回り、販売費及び一般管理費の予想比増加を吸収することから、営業利益は337百万円、経常利益は249百万円と、いずれも前回発表予想を上回る結果となりました。

当期純利益は、株式会社いちごホールディングスの株式売却に伴う特別利益39百万円を計上する一方、太洋物産科技（煙台）有限公司への出資金の減損処理に伴う特別損失68百万円を計上し、法人税等を反映した結果、前回発表予想を下回る176百万円となりました。

３．連結決算への移行について

2023 年に設立いたしました太洋物産科技（煙台）有限公司 につきまして、連結上の重要性が増していることから、 当期より連結子会社としております。

なお、2026 年７月１日に株式会社いちごホールディングスの株式交換に基づき、株式会社いちごホールディングス及び株式会社ストロベリーコーンズは当社の連結子会社となりましたが、2026 年９月 30 日に株式会社いちごホールディングスの株式譲渡を行いました。両社に対する支配が一時的であるため、当期の当社連結財務諸表の連結の範囲には含めておりません。

４．連結決算への移行に伴う 2027 年９月期連結業績予想（2026 年 10 月１日～2027 年９月 30 日）

連結決算への移行に伴う 2027 年９月期連結業績予想につきましては、本日開示の 2026 年９月期決算短信［日本基準］(連結）の「３．2027 年９月期の業績予想（2026 年 10 月１日～2027 年９月 30 日)」に記載のとおりです。

５．連結業績の概要

連結業績予想は、連結対象となる太洋物産科技（煙台）有限公司の業績を織り込んだ数値であります。なお、今後は連結業績予想のみ開示を予定しております。

以　上